

セーフティ CPUユニット

NX-SL5□□□

超柔軟・超高速な マシンオートメーションに安全を統合 安全システムの自律分散にも対応

- ・安全プログラムから現場の安全機能確認レポートまで自動生成
- ・高周期な安全データロギングで生産停止要因や安全機器の劣化を把握
- ・装置内の高速高精度フィールドバスEtherCAT®に安全を統合
- ・装置間の産業用イーサネット、EtherNet/IP™への安全統合にも対応
- ・品質や生産性を決定づけるモーション機器の安全機能やさまざまなロボットと統合した安全システムを簡単に立上



規格認証対象機種などの最新情報につきましては、当社Webサイト (www.fa.omron.co.jp/) の「規格認証/適合」をご覧ください。

特長

- ・ EN ISO 13849-1 (PLe/カテゴリ4)、IEC 61508 (SIL3) 認証
- ・ Safety over EtherCAT (FSoE) 対応により、一本のEtherCAT®上に標準制御機器とセーフティ制御機器を混在可能
- ・ CIP Safety™対応により、一本のEtherNet/IP™上に標準制御機器とセーフティ制御機器を混在可能
- ・ IEC 61131-3 準拠のオートメーションソフトウェア Sysmac Studio1により、安全プログラムのPOU単位での効率的な設計運用と設計資産の再利用を実現
- ・ PLCopen®準拠の安全ファンクションブロック対応により、安全設計の習熟期間とコストを低減
- ・ 開発者の安全設計ミスを低減するセーフティI/O設定および配線図自動生成機能、セーフティプログラムの自動プログラミング機能、作成済のプログラムを基にしたユーザ定義ファンクションブロックの自動生成(変換)機能にも対応
- ・ オフラインシミュレーション機能と連動した簡易自動テスト、セーフティアプリケーションデータのCPUメモリ保存時の妥当性確認、オンライン安全機能テストなどにより、装置立上時だけでなく長年の生産継続期間中の運用においても確かな安全性の維持管理が可能

* CIP (Common Industrial Protocol) は、オープン(マルチベンダー対応)で異なるCIPネットワーク間の通信が可能な、業界標準ネットワークのひとつです。このネットワークに、安全制御機能を実装したものがCIP Safetyです。

* オープンプロトコルのSafety over EtherCAT (略称: FSoE; FailSafe over EtherCAT) は、機能安全に関する通信層を定義するものです。IEC 61508 (SIL3) の要件に適合し、安全情報と標準情報を同じ通信システム上で通信速度やサイクルタイムの制限なく通信することを可能とします。

商標



- ・ Sysmacは、オムロン株式会社FA機器製品の日本およびその他の国における商標または登録商標です。
- ・ Microsoft、Windows、Windows Vista、Excel、Visual Basic は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ EtherCAT®は、ドイツBeckhoff Automation GmbHによりライセンスされた特許取得済み技術であり登録商標です。
- ・ Safety over EtherCAT®は、ドイツBeckhoff Automation GmbHによりライセンスされた特許取得済み技術であり登録商標です。
- ・ ODVA、CIP™、CompoNet™、DeviceNet™、EtherNet/IP™、CIP Safety™はODVAの商標です。
- ・ PLCopen®および関連するロゴマークはPLCopen®が所有する登録商標です。
- ・ SD、SDHC ロゴは、SD-3C,LLCの商標です。

その他、本文中に掲載しているシステム名および製品名は、それぞれ各社の商標または、登録商標です。

NX-SL5□□□

種類/標準価格

セーフティ CPUユニット NX-SL5□□□

種類	外観	仕様				ユニットバージョン	形式	標準価格(¥)
		最大セーフティ I/O点数	プログラム容量	セーフティ I/O コネクション数	I/Oリフレッシュ方式			
セーフティ CPUユニット (形NX-SL5□□□)		1024点	2048KB	128	フリーランリフレッシュ方式	Ver.1.4	形NX-SL5500	275,000
		2032点	4096KB	254	フリーランリフレッシュ方式	Ver.1.4	形NX-SL5700	440,000

付属品

付属品はありません。

オートメーションソフトウェア Sysmac Studio

新規ご購入の際は、DVDとライセンスの両方をご購入ください。DVDとライセンスの単独購入も可能です。ライセンス版にはDVDメディアは含まれません。

商品名称	仕様	ライセンス数		メディア	形式	標準価格(¥)
		ライセンス数	メディア			
Sysmac Studio スタンダード エディション Ver.1.□□*1	Sysmac Studioは、NJ/NXシリーズCPUユニット および NYシリーズ産業用PCをはじめとするマシンオートメーションコントローラ、EtherCATスレーブおよびHMIなどの設定、プログラミング、デバッグ、メンテナンスのための、統合開発環境を提供するソフトウェアです。 次の環境で動作します。*2 OS: Windows 7 (32bit版/64bit版) / Windows 8 (32bit版/64bit版) / Windows 8.1 (32bit版/64bit版) / Windows 10 (32bit版/64bit版) / Windows 11 (64bit版) Sysmac StudioスタンダードエディションのDVDメディアには、EtherNet/IP、DeviceNet、シリアル通信、表示器作画(CX-Designer)のための各ツールが同梱されています。 詳しくは当社Webサイト(www.fa.omron.co.jp/)の商品情報をご覧ください。	なし (メディアのみ)		Sysmac Studio 32bit版 DVD	形SYSMAC-SE200D	3,850
		なし (メディアのみ)		Sysmac Studio 64bit版 DVD	形SYSMAC-SE200D-64	3,850
		1ライセンス版 *3	—	—	形SYSMAC-SE201L	325,000
Sysmac Studio セーフティ エディション*4 Ver.1.□□	Sysmac Studioセーフティエディションは、セーフティコントロールシステムの設定に必要な機能のみを含んだライセンスです。 本形式はライセンスのみになりますので、Sysmac Studioスタンダードエディションのメディア(DVD)と併せてご使用ください。	1ライセンス版	—	—	形SYSMAC-FE001L	オープン価格

注. オートメーションソフトウェアSysmacStudioの詳細は、SYSMAC-SE□□□データシート(www.fa.omron.co.jp/)をご覧ください。

*1. Sysmac Studioスタンダードエディションのライセンス版(形SYSMAC-SE2□□□L)は、セーフティエディション(形SYSMAC-FE001L)の機能が含まれています。また、Ver.1.24以降にて通信コントロールユニットの使用が可能です。

*2. 形SYSMAC-SE200D-64はWindows 10(64bit版)以降で動作します。

*3. スタンダードエディションは、マルチライセンス商品(3、10、30、50 ライセンス)もご用意しております。

*4. セーフティエディションは、通信コントロールユニットおよびEtherNet/IPカプラユニットを用いたセーフティコントロールシステムのみ使用できます。

認証規格

セーフティ CPUユニット 形NX-SL5□□□

認証機関	規格
TÜVラインランド	<ul style="list-style-type: none"> ・ EN ISO 13849-1 ・ EN ISO 13849-2 ・ IEC 61508 parts 1-7 ・ IEC/EN 61131-2 ・ IEC 61326-3-1 ・ IEC 61131-6
UL	<ul style="list-style-type: none"> ・ NRAG (UL 61010-1およびUL 61010-2-201およびUL 121201) ・ NRAG7 (CSA C22.2 No. 61010-1および CSA C22.2 No. 61010-2-201およびCSA C22.2 No. 213) ・ FSPC (IEC 61508およびISO 13849)
船舶	NK、LK

NXシリーズ セーフティ CPUユニットを使用することにより、以下を満足するセーフティコントロールシステムを構築することができます。

- ・ IEC 61508のSIL3の要求事項
- ・ EN ISO 13849-1のPLe/カテゴリ4の要求事項

また、NXシリーズ セーフティ CPUユニットは、RCM、EAC、およびKC(韓国電波法)の適合登録をしています。

一般仕様

項目	仕様	
構造	盤内内蔵型(開放型)	
接地方法	D種接地(第3種接地)	
使用環境	使用周囲温度	0~55℃
	使用周囲湿度	10~95%RH(結露・氷結のないこと)
	使用周囲雰囲気	腐食性ガスのないこと
	保存周囲温度	-25~+70℃(ただし、結露・氷結のないこと)
	使用標高	2,000m以下
	汚染度	汚染度2以下
	耐ノイズ性	IEC61131-2準拠 2kV(電源ライン)
	絶縁構造	CLASS III (SELV)
	過電圧カテゴリ	II
	EMCイミュニティレベル	ゾーンB
	耐振動	IEC60068-2-6に準拠 5~8.4Hz 振幅3.5mm、 8.4~150Hz 加速度9.8m/s ² X、Y、Z各方向 100分(掃引時間10分×掃引回数10回=合計100分)
耐衝撃	IEC60068-2-27に準拠 147m/s ² X、Y、Z各方向3回	
取付方法	DINレール取付 (IEC60715 TH35-7.5/TH35-15)	

ユニット仕様

ユニット名称	セーフティCPUユニット	
形式	形NX-SL5500	形NX-SL5700
最大セーフティ I/O点数	1024点	2032点
プログラム容量	2048KB	4096KB
セーフティ I/Oコネクション数 *1	128	254
CIP Safety オリジネータコネクション数	128	254
CIP Safety ターゲットコネクション数	4	4
マルチキャスト可能なオリジネータ数	8	8
FSoE マスタコネクション数	128	254
I/Oリフレッシュ方式	フリーランリフレッシュ方式	
外部接続端子	なし	
LED表示		
ハードウェアスイッチ設定		
外形寸法 (mm)	30 (W) × 100 (H) × 71 (D)	
I/O電源供給方法	供給なし	
I/O電源端子電流容量	I/O電源端子なし	
NXユニット電源消費電力 *2	3.35W以下	
I/O電源消費電流	消費なし	
質量	130g以下	
取付方向と制限	取付方向：正面取付 *3 制限：制限はありません。	

*1. 本ユニットに設定可能な最大セーフティ I/O コネクション数です。CIP Safety オリジネータコネクションとCIP Safety ターゲットコネクションおよびFSoE マスタコネクションの合計値です。

*2. 当該ユニットの電源を供給するユニット (通信コントロールユニット / NX ユニット電源供給ユニット) の配線長は20m以下であること。

*3. 形NX102 CPUユニット、形NX502 CPUユニットおよび通信コントロールユニット形NX-CSGに接続可能です。形NX1P2 CPUユニットおよび通信カプラユニットには接続できません。

接続可能CPUユニット、通信ユニットおよびソフトウェアの組み合わせ

セーフティ CPUユニット NX-SL5□□□と接続して使用することが可能なNXシリーズCPUユニット、通信ユニットおよび使用可能なSysmac Studioのエディションは次のとおりです。

CPUユニット/ 通信ユニット の種類	NJ/NXシリーズ CPUユニット*1	通信ユニット		
	形NX102-□□□□ 形NX502-□□□□	EtherCATカプラユニット 形NX-ECC20□	EtherNet/IPカプラユニット 形NX-EIC202	通信コントロールユニット 形NX-CSG320
使用可能な Sysmac Studioの エディション*2	スタンダード エディション	スタンダードエディション	スタンダードエディション セーフティエディション	スタンダードエディション セーフティエディション
形NX-SL5500	○	×	×	○
形NX-SL5700	○	×	×	○

*1. 形NJ/NX1P/NX7 CPUユニットには直接接続することはできません。これらのCPUユニットを用いたシステムに接続するためには、通信ユニットとして形NX-CSG320を使用することが必要です。

*2. 各ユニットおよびSysmac Studioの使用可能なバージョンの組み合わせについては「バージョン情報」を参照してください。

バージョン情報

NXシリーズ セーフティコントロールユニットと、CPUユニット、通信コントロールユニットおよび対応するSysmac Studioのバージョンについて、使用可能な組み合わせは次のとおりです。使用するユニットバージョンおよびSysmac Studioのバージョンにより、対応しているセーフティコントロール関連機能が異なります。詳細は『NXシリーズ セーフティコントロールユニット ユーザーズマニュアル(SGFM-710)』および『NXシリーズ セーフティコントロールユニット/通信コントロールユニット ユーザーズマニュアル(SGFM-723)』を参照ください。

形NX-SL5□□□ Ver.1.4で接続可能なCPUユニットおよび通信ユニットのバージョンの組み合わせは以下です。

- ・形NX102 CPUユニット Ver.1.31以降およびSysmac Studio Ver.1.40以降
- ・形NX502 CPUユニット Ver.1.60以降およびSysmac Studio Ver.1.54以降
- ・形NX-CSG Ver.1.01以降およびSysmac Studio Ver.1.40以降

ユニットバージョンごとの組み合わせ一覧

セーフティコントロール ユニットの形式および バージョン		NXバスマスタ： 形NX102 CPUユニット		NXバスマスタ： 形NX502 CPUユニット		NXバスマスタ： 通信コントロールユニット	
形式	ユニット バージョン	形NX102- □□□□	Sysmac Studio	形NX502- □□□□ *1	Sysmac Studio *2	形NX-CSG320	Sysmac Studio
形NX-SL5500	Ver.1.3	Ver.1.31以降	Ver.1.24以降	Ver.1.60以降	Ver.1.54以降	Ver.1.01以降	Ver.1.24以降
	Ver.1.4		Ver.1.40以降				Ver.1.40以降
形NX-SL5700	Ver.1.2	—	—	—	—	Ver.1.00のみ	Ver.1.24以降
	Ver.1.3	Ver.1.31以降	Ver.1.24以降	Ver.1.60以降	Ver.1.54以降	Ver.1.01以降	Ver.1.24以降
形NX-SIH400	Ver.1.0	Ver.1.30以降	Ver.1.22以降	Ver.1.60以降	Ver.1.54以降	Ver.1.00以降	Ver.1.24以降
	Ver.1.1						
形NX-SID800	Ver.1.0	Ver.1.30以降	Ver.1.22以降	Ver.1.60以降	Ver.1.54以降	Ver.1.00以降	Ver.1.24以降
形NX-SOH200	Ver.1.0	Ver.1.30以降	Ver.1.22以降	Ver.1.60以降	Ver.1.54以降	Ver.1.00以降	Ver.1.24以降
形NX-SOD400	Ver.1.0	Ver.1.30以降	Ver.1.22以降	Ver.1.60以降	Ver.1.54以降	Ver.1.00以降	Ver.1.24以降

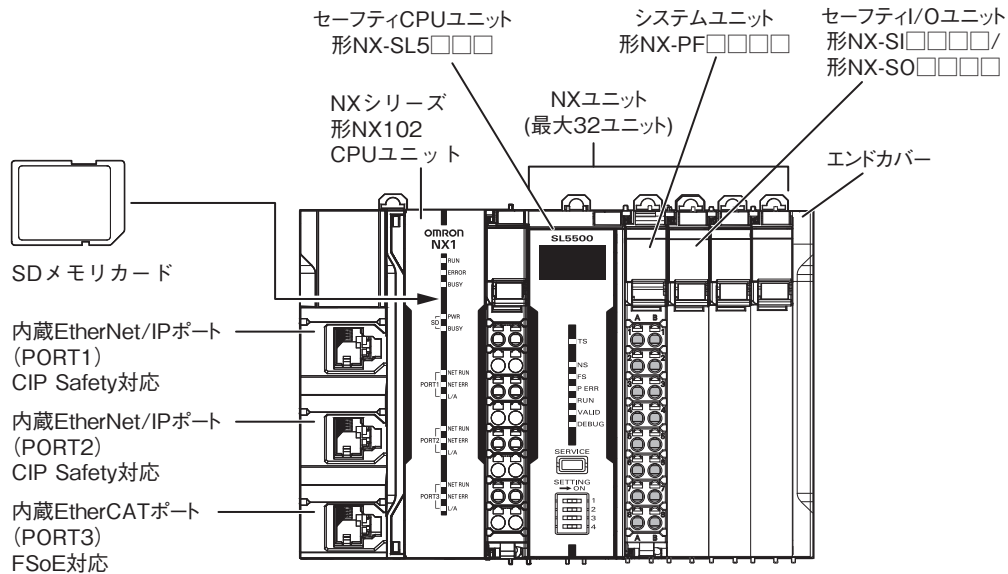
*1. CIP Safety通信を行う場合は、EtherNet/IPユニット 形NX-EIP201とのセットでご使用いただくか、Ver.1.64以降のNX502 CPUユニット 形NX502-1□00をご使用ください。

*2. Ver.1.64以降の形NX502-1□00の内蔵EtherNet/IPポートでCIP Safety通信を行う場合は、Ver.1.56以降のSysmac Studioをご使用ください。

NXユニット構成

CPUラック(形NX102 CPUユニット接続時)

CPUラックは、NXシリーズ 形NX102 CPUユニットとNXユニットの各構成ユニット、エンドカバーからなります。NXユニットの接続数は、最大32台です。

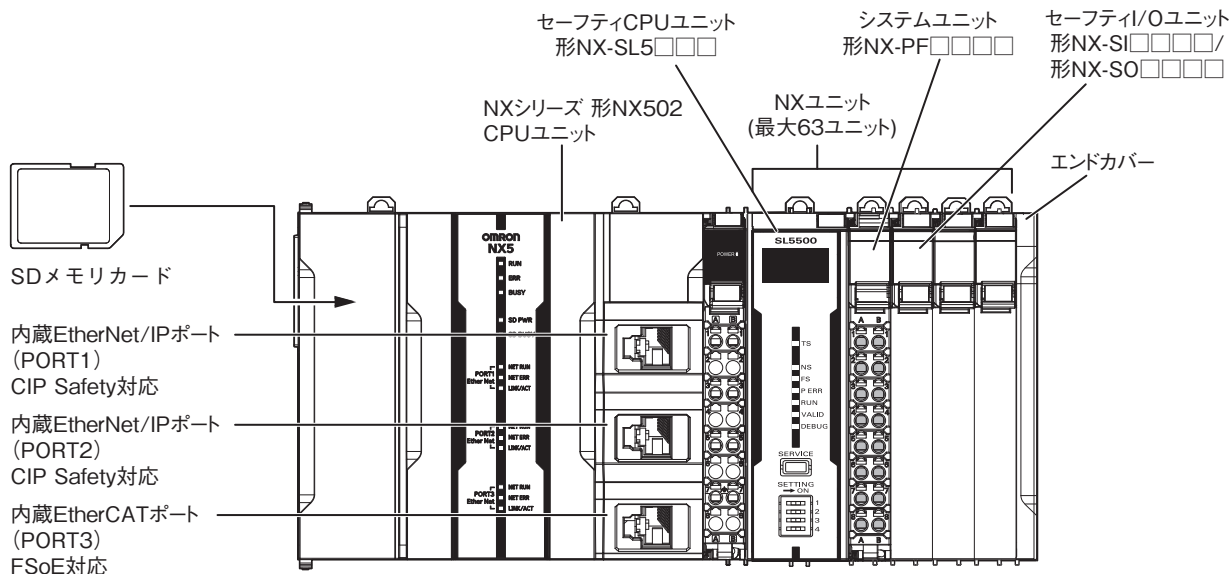


NXユニットの制約などについては、『NXシリーズ 形NX102 CPUユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編(SBCA-462)』を参照してください。

名称	構成内容	備考
NXシリーズ	NXシリーズ 形NX102 CPUユニット	CPUラックに1台必要です。 CPUラックに、最大32台まで接続できます。 NXユニットの制約などについては、『NXシリーズ 形NX102 CPUユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編(SBCA-462)』を参照してください。
	エンドカバー	CPUラックの右端に必要です。CPUユニットに1個、標準で付属しています。
	セーフティコントロールユニット	IEC 61131-3およびPLCopen®TC5 Safetyに対応した、プログラマブルなセーフティコントローラです。 セーフティ CPUユニットとセーフティ I/Oユニットからなります。
	セーフティ CPUユニット 形NX-SL5□□□□	セーフティコントロール機能を持つユニットです。 NXユニットとして動作します。FSoEマスタとして動作します。 CIP Safety on EtherNet/IPデバイスとして動作します。
	セーフティ I/Oユニット	セーフティ入力機能または出力機能を持つユニットです。 NXユニットとして動作します。FSoEスレーブとして動作します。
	セーフティ入力ユニット	セーフティ入力機能を持つユニットです。
	セーフティ出力ユニット	セーフティ出力機能を持つユニットです。
	システムユニット	CPUユニットに接続するNXユニットのI/O電源供給方法が「NXバスからの供給」の場合、IO電源供給ユニット(形NX-PF)を同時使用する必要があります。
	その他のNXユニット	NXユニットの最新のラインナップについては、「カタログ」や当社ホームページ、または当社販売員に確認してください。
NJ/NXシリーズ	SDメモリカード	必要に応じて実装します。

CPUラック(形NX502 CPUユニット接続時)

CPUラックは、NXシリーズ 形NX502 CPUユニットとNXユニットの各構成ユニット、エンドカバーからなります。NXユニットの接続数は、最大63台です。



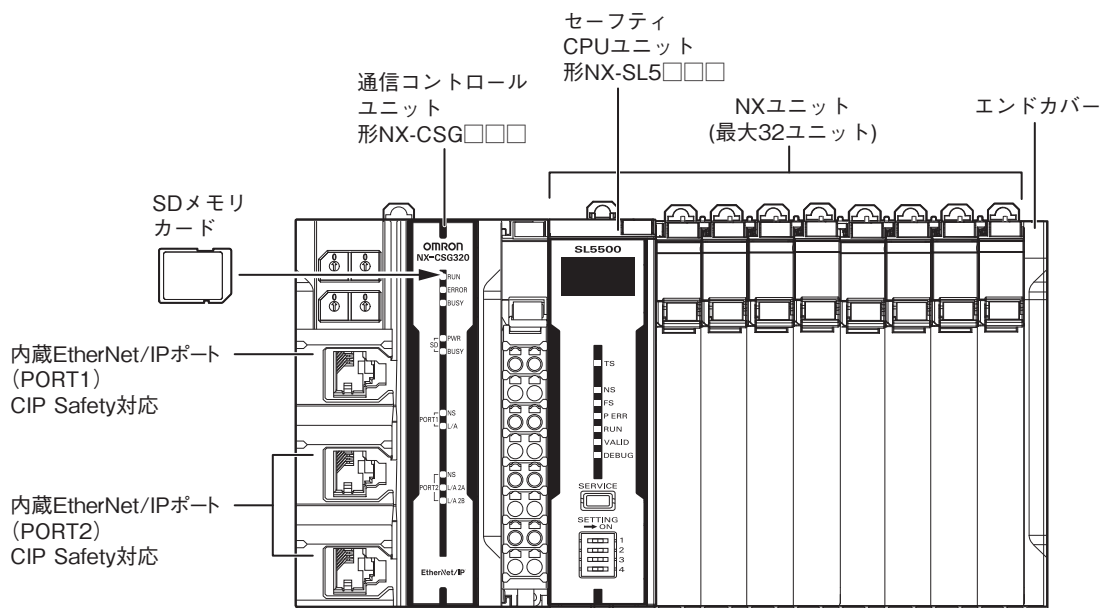
NXユニットの制約などについては、『NXシリーズ 形NX502 CPUユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編(SBCA-497)』を参照してください。

名称	構成内容	備考
NXシリーズ	NXシリーズ 形NX502 CPUユニット	CPUラックに1台必要です。 CPUラックに、最大63台まで接続できます。 NXユニットの制約などについては、『NXシリーズ 形NX502 CPUユニット ユーザーズマニュアル ハードウェア編(SBCA-497)』を参照してください。
	エンドカバー	CPUラックの右端に必要です。CPUユニットに1個、標準で付属しています。
	セーフティコントロールユニット	IEC 61131-3およびPLCopen [®] TC5 Safetyに対応した、プログラマブルなセーフティコントローラです。 セーフティ CPUユニットとセーフティ I/Oユニットからなります。
	セーフティ CPUユニット 形NX-SL5□□□	セーフティコントロール機能を持つユニットです。 NXユニットとして動作します。FSoEマスタとして動作します。 CIP Safety on EtherNet/IPデバイスとして動作します。
	セーフティ I/Oユニット	セーフティ入力機能または出力機能を持つユニットです。 NXユニットとして動作します。FSoEスレーブとして動作します。
	セーフティ入力ユニット セーフティ出力ユニット	セーフティ入力機能を持つユニットです。 セーフティ出力機能を持つユニットです。
	システムユニット	CPUユニットに接続するNXユニットのI/O電源供給方法が「NXバスからの供給」の場合、IO電源供給ユニット(形NX-PF)を同時使用する必要があります。
	その他のNXユニット	NXユニットの最新のラインナップについては、「カタログ」や当社ホームページ、または当社販売員に確認してください。
NJ/NXシリーズ	SDメモリカード	必要に応じて実装します。

CPUラック(形NX-CSG通信コントロールユニット接続時)

NXユニット構成は、NXユニットを接続する構成です。CPUラックに、通信コントロールユニット、セーフティ CPUユニット、セーフティ I/Oユニット、その他のNX ユニット、エンドカバーを装着します。

NXユニットの接続数は、最大32台です。



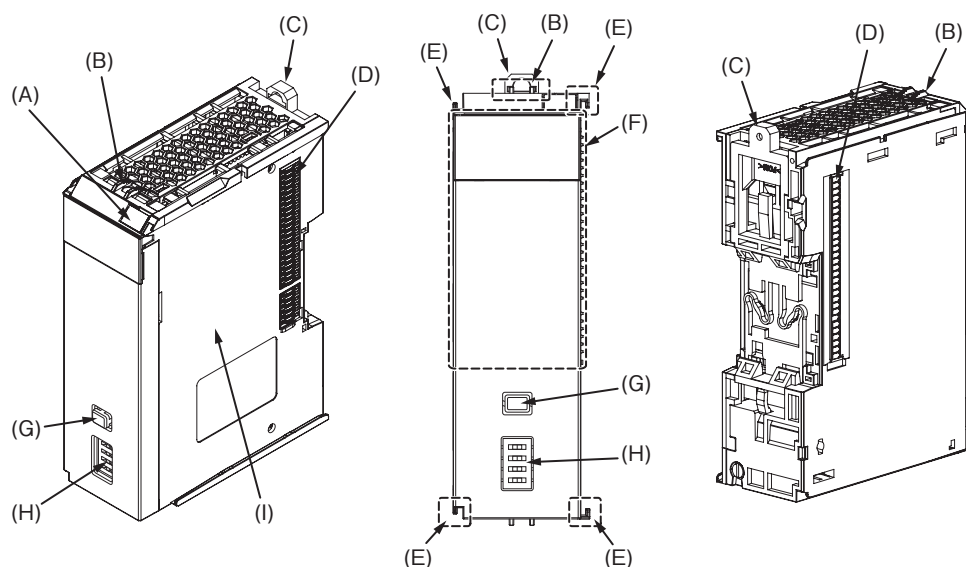
通信コントロールユニットを使用したシステム構成の詳細については、『NXシリーズ セーフティコントロールユニット/通信コントロールユニット ユーザーズマニュアル(SGFM-723)』を参照してください。

構成内容		備考
通信コントロールユニット 形NX-CSG□□□		CPUラックに1台必要です。
エンドカバー		CPUラックの右側に必要です。通信コントロールユニットに1個、標準で付属しています。
NXユニット	セーフティ CPUユニット 形NX-SL5□□□	CPUラックに最大32台まで接続できます。セーフティ CPUユニットはCPUラックに1台必要です。 接続可能なNXユニットについては、「NXシリーズ セーフティコントロールユニット/通信コントロールユニット ユーザーズマニュアル(SGFM-723)」を参照してください。
	セーフティ入力ユニット	
	セーフティ出力ユニット	
	その他のNXユニット	
SDメモリカード		必要に応じて実装します。

各部の名称と機能

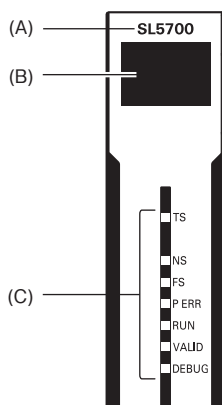
セーフティ CPUユニット 形NX-SL5500/SL5700

本体



記号	項目	仕様
(A)	マーカ取付箇所	マーカを取り付ける箇所です。工場出荷時、オムロン製のマーカがあらかじめ取り付けられています。市販のマーカを取り付けることもできます。
(B)	ユニット引き出し用突起	ユニットを取り外すときに指をかける突起です。
(C)	DINレール取付フック	DINレールへの取り付けに使用します。
(D)	NXバスコネクタ	NXシリーズ用バスコネクタです。
(E)	ユニット連結ガイド	ユニット同士を接続するガイドです。
(F)	表示部	セーフティ CPUユニットの現在の動作状態や、電源の状態を示します。
(G)	サービススイッチ	各種機能の開始トリガに使用します。
(H)	ディップスイッチ	セーフティユニットリストア機能や、セーフティデータロギング機能に使用します。
(I)	仕様表記部	セーフティ CPUユニットの仕様を記載しています。

表示部



記号	項目	機能
(A)	形式表示	セーフティ CPUユニット形式の一部が表示されています。
(B)	7セグメントLED	セーフティ CPUユニットの持つ詳細情報が表示されます。
(C)	LED	セーフティ CPUユニットの現在の動作状態や、通信状態を表します。

●LEDの仕様

[TS] LED	セーフティ CPUユニットの現在の状態や、NXバスマスタとの通信状態を表示します。
[NS] LED	セーフティ CPUユニットのCIP Safety通信の状態を表示します。
[FS] LED	セーフティ CPUユニットのFSOE通信の状態を表示します。
[RUN] LED	セーフティプログラムの実行状態を表示します。
[DEBUG] LED	セーフティ CPUユニットについての、デバッグ機能の実行可否を表示します。
[VALID] LED	セーフティ CPUユニットのセーフティアプリケーションデータについて、妥当性確認の実行・未実行状態を表示します。

●7セグメントLED

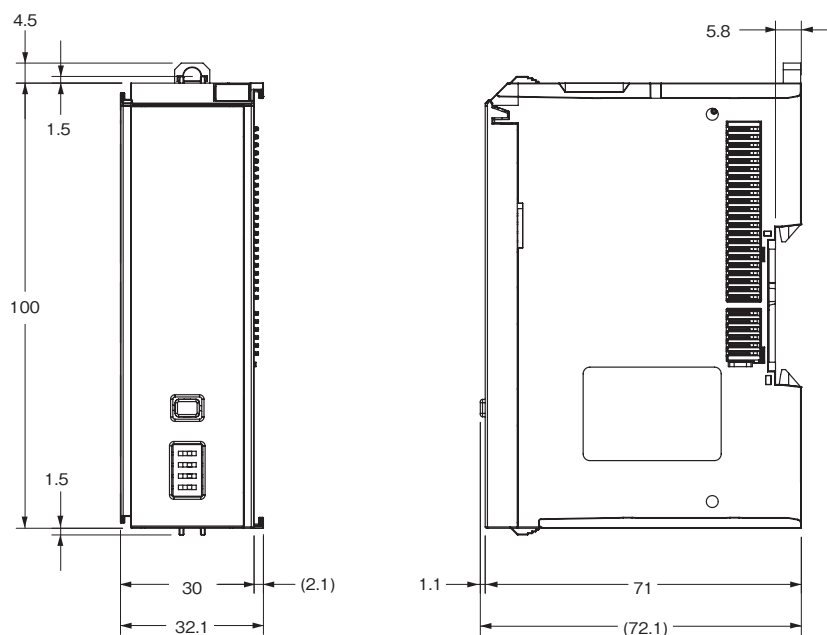
2桁の7セグメントLED には、以下の時にセーフティ CPUユニットの持つ詳細情報が表示されます。
 通常運転時/異常発生/署名コードの確認時/セーフティユニットリストア実行時/セーフティデータロギング実行時

外形寸法

CADデータ マークの商品は、2次元CAD図面・3次元CADモデルのデータをご用意しています。
CADデータは、www.fa.omron.co.jpからダウンロードができます。

(単位:mm)

セーフティ CPUユニット 形NX-SL5500/SL5700



関連マニュアル

マニュアル名称	Man.No	形式	用途	内容
NXシリーズ セーフティ コントロールユニット ユーザーズマニュアル	SGFM-710	形NX-SL□□□□ 形NX-SI□□□□ 形NX-SO□□□□	NXシリーズ セーフティ コントロールユニットの 使用方法について知りたい とき。	NXシリーズ セーフティコントロール ユニットのハードウェアや設定方法、 機能について説明します。
NXシリーズ セーフティコントロール ユニット コマンドリファレンス マニュアル	SGFM-711	形NX-SL□□□□	セーフティ CPUユニット 用の命令仕様の詳細につ いて知りたいとき。	セーフティ CPUユニット用の命令の詳 細を説明します。
NXシリーズ セーフティコントロール ユニット/ 通信コントロールユニット ユーザーズマニュアル	SGFM-723	形 NX-SL5□□□ 形 NX-SI□□□ 形 NX-SO□□□ 形 NX-CSG□□□	NXシリーズ セーフティ コントロールユニット/ 通信コントロールユニッ トの使用方法について知 りたいとき。	NXシリーズ セーフティコントロール ユニット/通信コントロールユニッ トのハードウェアや設定方法、機能につ いて説明します。
Sysmac Studio Version 1 オペレーションマニュアル	SBCA-470	形SYSMAC -SE2□□□	Sysmac Studioの操作方 法、機能について知りたい とき。	Sysmac Studioの操作方法について説明 します。

正しくお使いください

セーフティ商品の安全上の注意については、当社Webサイト(www.fa.omron.co.jp/)をご覧ください。
ご使用上の注意事項につきましては、またご使用の際に必要な内容につきましては、必ずマニュアルをご覧ください。

オムロン商品ご購入のお客様へ

ご承諾事項

平素はオムロン株式会社(以下「当社」)の商品をご愛用いただき誠にありがとうございます。
「当社商品」のご購入について特別の合意がない場合には、お客様のご購入先にかかわらず、本ご承諾事項記載の条件を適用いたします。ご承諾のうえご注文ください。

1. 定義

本ご承諾事項中の用語の定義は次のとおりです。

- ①「当社商品」:「当社」のFAシステム機器、汎用制御機器、センシング機器、電子・機構部品
- ②「カタログ等」:「当社商品」に関する、ベスト制御機器オムロン、電子・機構部品総合カタログ、その他のカタログ、仕様書、取扱説明書、マニュアル等であって電磁的方法で提供されるものも含まれます。
- ③「利用条件等」:「カタログ等」に記載の、「当社商品」の利用条件、定格、性能、動作環境、取り扱い方法、利用上の注意、禁止事項その他
- ④「お客様用途」:「当社商品」のお客様におけるご利用方法であって、お客様が製造する部品、電子基板、機器、設備またはシステム等への「当社商品」の組み込み又は利用を含みます。
- ⑤「適合性等」:「お客様用途」での「当社商品」の(a)適合性、(b)動作、(c)第三者の知的財産の非侵害、(d)法令の遵守および(e)各種規格の遵守

2. 記載事項のご注意

「カタログ等」の記載内容については次の点をご理解ください。

- ① 定格値および性能値は、単独試験における各条件のもとで得られた値であり、各定格値および性能値の複合条件のもとで得られる値を保証するものではありません。
- ② 参考データはご参考として提供するもので、その範囲で常に正常に動作することを保証するものではありません。
- ③ 利用事例はご参考ですので、「当社」は「適合性等」について保証いたしかねます。
- ④ 「当社」は、改善や当社都合等により、「当社商品」の生産を中止し、または「当社商品」の仕様を変更することがあります。

3. ご利用にあたってのご注意

ご採用およびご利用に際しては次の点をご理解ください。

- ① 定格・性能ほか「利用条件等」を遵守しご利用ください。
- ② お客様ご自身にて「適合性等」をご確認いただき、「当社商品」のご利用の可否をご判断ください。「当社」は「適合性等」を一切保証いたしかねます。
- ③ 「当社商品」がお客様のシステム全体の中で意図した用途に対して、適切に配電・設置されていることをお客様ご自身で、必ず事前に確認してください。
- ④ 「当社商品」をご使用の際には、(i) 定格および性能に対し余裕のある「当社商品」のご利用、冗長設計などの安全設計、(ii) 「当社商品」が故障しても、「お客様用途」の危険を最小にする安全設計、(iii) 利用者に危険を知らせるための、安全対策のシステム全体としての構築、(iv) 「当社商品」および「お客様用途」の定期的な保守、の各事項を実施してください。
- ⑤ 「当社」はDDoS攻撃(分散型DoS攻撃)、コンピュータウイルスその他の技術的な有害プログラム、不正アクセスにより、「当社商品」、インストールされたソフトウェア、またはすべてのコンピュータ機器、コンピュータプログラム、ネットワーク、データベースが感染したとしても、そのことにより直接または間接的に生じた損失、損害その他の費用について一切責任を負わないものとします。
お客様ご自身にて、(i) アンチウイルス保護、(ii) データ入出力、(iii) 紛失データの復元、(iv) 「当社商品」またはインストールされたソフトウェアに対するコンピュータウイルス感染防止、(v) 「当社商品」に対する不正アクセス防止についての十分な措置を講じてください。
- ⑥ 「当社商品」は、一般工業製品向けの汎用品として設計製造されています。
従いまして、次に掲げる用途での使用は意図しておらず、お客様が「当社商品」をこれらの用途に使用される際には、「当社」は「当社商品」に対して一切保証をいたしません。ただし、次に掲げる用途であっても「当社」の意図した特別な商品用途の場合や特別の合意がある場合は除きます。
(a) 高い安全性が必要とされる用途(例:原子力制御設備、燃焼設備、航空・宇宙設備、鉄道設備、昇降設備、娯楽設備、医用機器、安全装置、その他生命・身体に危険が及ぶ用途)
(b) 高い信頼性が必要な用途(例:ガス・水道・電気等の供給システム、24時間連続運転システム、決済システムほか権利・財産を取扱う用途など)
(c) 厳しい条件または環境での用途(例:屋外に設置する設備、化学的汚染を被る設備、電磁的妨害を被る設備、振動・衝撃を受ける設備など)
(d) 「カタログ等」に記載のない条件や環境での用途
- ⑦ 上記3. ⑥(a)から(d)に記載されている他、「本カタログ等記載の商品」は自動車(二輪車含む。以下同じ)向けではありません。自動車に搭載する用途には利用しないでください。自動車搭載用商品については当社営業担当者にご相談ください。

4. 保証条件

「当社商品」の保証条件は次のとおりです。

- ① 保証期間:ご購入後1年間といたします。(ただし「カタログ等」に別途記載がある場合を除きます。)
- ② 保証内容:故障した「当社商品」について、以下のいずれかを「当社」の任意の判断で実施します。
(a) 当社保守サービス拠点における故障した「当社商品」の無償修理(ただし、電子・機構部品については、修理対応は行いません。)
(b) 故障した「当社商品」と同数の代替品の無償提供
- ③ 保証対象外:故障の原因が次のいずれかに該当する場合は、保証いたしません。
(a) 「当社商品」本来の使い方以外のご利用
(b) 「利用条件等」から外れたご利用
(c) 本ご承諾事項「3. ご利用にあたってのご注意」に反するご利用
(d) 「当社」以外による改造、修理による場合
(e) 「当社」以外の者によるソフトウェアプログラムによる場合
(f) 「当社」からの出荷時の科学・技術の水準では予見できなかった原因
(g) 上記のほか「当社」または「当社商品」以外の原因(天災等の不可抗力を含む)

5. 責任の制限

本ご承諾事項に記載の保証が、「当社商品」に関する保証のすべてです。

「当社商品」に関連して生じた損害について、「当社」および「当社商品」の販売店は責任を負いません。

6. 輸出管理

「当社商品」または技術資料を、輸出または非居住者に提供する場合は、安全保障貿易管理に関する日本および関係各国の法令・規制を遵守ください。お客様が法令・規則に違反する場合には、「当社商品」または技術資料をご提供できない場合があります。

関連商品カタログ/データシート



NXシリーズ
セーフティコントローラ
CIP Safetyシステム
パンフレット

カタログ番号: SGFM-087



セーフティI/Oユニット
NX-SI/SO データシート

カタログ番号: SGFM-105



通信コントロールユニット
NX-CSG データシート

カタログ番号: SGFM-107



セーフティI/Oターミナル
GI-Sシリーズ データシート

カタログ番号: SGFM-108



マシントレーシング
コントローラ
NX1 カタログ

カタログ番号: SBCA-117



マシントレーシング
コントローラ
NX1 データシート

カタログ番号: SBCA-118



NXシリーズ
I/Oシステム カタログ

カタログ番号: SBCD-083



オートメーション
ソフトウェア
Sysmac Studio カタログ

カタログ番号: SBCA-122



オートメーション
ソフトウェア
Sysmac Studio Ver.1.0.0
データシート

オムロン株式会社 インダストリアルオートメーションビジネスカンパニー

製品に関するお問い合わせ先

お客様
相談室

フリー
通話

0120-919-066

携帯電話・IP電話などをご利用いただけ
ませんので、右記の電話番号へおかけください。

055-982-5015
(通話料がかかります)

受付時間: 9:00~19:00 (12/31~1/3を除く)

オムロンFAクイックチャット

www.fa.omron.co.jp/contact/tech/chat/

技術相談員にチャットでお問い合わせいただけます。(I-Webメンバーズ限定)

受付時間: 平日9:00~12:00 / 13:00~17:00 (土日祝日・年末年始・当社休業日を除く)
※受付時間、営業日は変更の可能性がございます。最新情報はリンク先をご確認ください。

その他のお問い合わせ: 納期・価格・サンプル・仕様書は貴社のお取引先、または貴社担当オムロン販売員にご相談ください。オムロン制御機器販売店やオムロン販売拠点は、Webページでご案内しています。

オムロン制御機器の最新情報をご覧ください。緊急時のご購入にもご利用ください。 www.fa.omron.co.jp

本誌には主に機種のご選定に必要な内容を掲載しており、ご使用上の注意事項等を掲載していない製品も含まれています。
本誌に注意事項等の掲載のない製品につきましては、ユーザーズマニュアル掲載のご使用上の注意事項等、ご使用の際に必要な内容を必ずお読みください。

- 本誌に記載の標準価格はあくまで参考であり、確定されたユーザー購入価格を表示したものではありません。本誌に記載の標準価格には消費税が含まれておりません。
- 本誌にオープン価格の記載がある商品については、標準価格を決めていません。
- 本誌に記載されているアプリケーション事例は参考用ですので、ご採用に際しては機器・装置の機能や安全性をご確認の上、ご使用ください。
- 本誌に記載のない条件や環境での使用、および原子力制御・鉄道・航空・車両・燃焼装置・医療機器・娯楽機械・安全機器、その他人命や財産に大きな影響が予測されるなど、特に安全性が要求される用途に使用される際には、当社の意図した特別な商品用途の場合や特別の合意がある場合を除き、当社は当社商品に対して一切保証をいたしません。
- 本製品の内、外国為替及び外国貿易法に定める輸出許可、承認対象貨物(又は技術)に該当するものを輸出(又は非居住者に提供)する場合は同法に基づく輸出許可、承認(又は役務取引許可)が必要です。
- 規格認証/適合対象機種などの最新情報につきましては、当社Webサイト(www.fa.omron.co.jp)の「規格認証/適合」をご覧ください。

オムロン商品のご用命は

カタログ番号 SGFM-106C

2023年10月現在

CSM_2_2

©OMRON Corporation 2023 All Rights Reserved.
お断りなく仕様などを変更することがありますのでご了承ください